

# 選挙公報

役員選挙について

役員候補者の選挙公報を掲載します。

理事につきましては、立候補者が定数を超えたため、代議員の皆様におかれましては、投票期間内に投票をお願いいたします。

備考：この選挙公報は、候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです。

	定数	立候補者数
理事	20 名	23 名
監事	2 名	2 名

選挙期間 2023年5月29日（月）12：00～6月11日（月）12：00

投票方法 インターネット投票

\* 日本理学療法士協会のマイページ内よりログインしてください

2023年5月

一般社団法人 兵庫県理学療法士会  
選挙管理委員会

# 理事立候補者

定数：20 名

立候補者数：23 名

※投票は定数連記方式（20 票まで有効）となります

備考：この選挙公報は、立候補届出順に、  
候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです



氏名 小森 昌彦

年齢 56

勤務先名 兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷



氏名 小山 長

年齢 48

勤務先名 新須磨病院

### 経歴

88 高知医療学院卒業 理学療法士免許取得  
兵庫県立加古川病院勤務（業務内容 整形外科リハ）

99 兵庫県立但馬長寿の郷勤務（地域ケア）

平成18年度 鳥取県地域ケア整備構想検討委員会委員  
平成18年度 兵庫県介護予防の効果的な提供部会オブザーバー  
平成19年度 鳥取県介護予防市町村支援委員会アドバイザー  
平成24年度 滋賀県介護予防推進交付金評価委員会委員  
（公益社団）日本理学療法士協会 平成25年度 グランドデザイン検討特別委員会 委員  
（公益社団）日本理学療法士協会 平成26年・30年度 地域包括ケア推進リーダー養成ワーキンググループ  
（公益社団）日本理学療法士協会 平成26年度 地域ケア会議推進リーダー養成ワーキンググループ  
（一般社団）日本公衆衛生学会 令和2年度 高齢者の保健医療福祉に関する委員会委員  
（公益法人）日本理学療法士協会 令和3年度 認定理学療法士 臨床認定カリキュラム（介護予防）分野責任者  
令和3・4年度 （一般社団）兵庫県理学療法士会 常務理事

### 立候補の趣旨

県の行政職として24年間勤務してきましたが、県や市町といった行政機関における理学療法士の認知度は他の職種に比べかなり低いことを実感しています。理学療法士の地位向上や認知度向上は、県士会の大きな役割の一つですが、そのためには、行政機関との連携は必須です。任期の2年間を行政職としての経験を生かし、行政機関との窓口役を果たすとともに県士会運営に行政的な視点を反映させ、次世代につながるような士会活動に尽力したいと考えます。

### 経歴

2006年 一社）兵庫県理学療法士会 神戸（西）ブロック ブロック長  
2007年 一社）兵庫県理学療法士会 第20回兵庫県理学療法士学会準備委員長  
2012年 公社）日本理学療法士協会 第47回日本理学療法学会（兵庫）学術編集部 部長  
2015年 公社）日本理学療法士協会近畿ブロック 第55回近畿理学療法学会 広報・渉外局 局長  
2015年 一社）兵庫県理学療法士会 理事  
2016年 公社）日本理学療法士協会 代議員  
2016年 一社）兵庫県理学療法士会 第28回兵庫県理学療法士学会 大会長  
2020年 ICT推進検討委員会 委員  
2020年 公社）日本理学療法士協会近畿ブロック 第61回近畿理学療法学会 運営局 局長  
2020年 感染予防対策委員会 委員

### 立候補の趣旨

私は平成27年より4期8年間理事として、支部活動を主な課題として取り組んでまいりました。現在の支部活動は、より地域に根ざした独自性のある活動が求められ、その業務内容は、年々複雑なものとなってきております。特に昨年より始動となった新生涯学習制度は、支部にとって非常に負担の大きいものでした。このような中、手続きのマニュアル化や説明会の開催、学術局との連携などを行いながら、できる限り円滑な事業実施となるよう努めてまいりました。現在、士会主催の研修会はリモートでの開催が中心となり、支部の垣根を越えた参加が可能となっております。その中で、「支部の独自性」とは何なのか、それぞれの支部が探求する時期が来ています。その時、各支部が持つ想いを実現するために、あらゆる挑戦をサポートする必要があります。私は兵庫県理学療法士会の支部活動に関わり、会員の方々にとって充実した理学療法士業務の一助となることを目標に、理事に立候補致します。



氏名 山本 克己

年齢 66

勤務先名 一般社団法人 兵庫県理学療法士会



氏名 間瀬 教史

年齢 57

勤務先名 甲南女子大学看護リハビリテーション学部

### 経歴

兵庫県理学療法士会  
副会長・事務局長 平成27年度～ 現職  
常務理事 平成25年度～平成26年度  
理事 平成18年度～平成24年度  
保健福祉部長 平成11年度～平成17年度  
地域理学療法部・保健福祉部 部員 昭和61年度～平成10年度  
日本理学療法士協会 代議員 平成23年度～  
日本理学療法士協会 理学療法士労働環境委員会委員長 令和3年度～現在  
第47回日本理学療法学会 事務局長 平成24年度  
第25回兵庫県理学療法学会 大会長 平成25年度  
第55回近畿理学療法学会 副大会長 平成27年度

### 経歴

日本理学療法士協会 役員  
平成17年～平成27年 代議員  
平成27年～平成29年 理事、学会運営審議会審議員  
平成28年～平成29年 臨床実習の手引き作成特別委員会委員長  
令和2年～現在に至る 認定・専門理学療法士制度部会長  
日本理学療法学会連合、日本呼吸理学療法学会  
令和4年～現在に至る 理学療法標準化検討委員会委員  
令和3年～現在に至る 日本呼吸理学療法学会監事  
兵庫県理学療法士会 役員  
平成7年～現在に至る 理事  
平成25年～令和3年 副会長  
令和3年～現在に至る 会長

### 立候補の趣旨

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の「5類」移行を見据えて、社会全体が新たな社会秩序の構築に向けて動き出している中で、理学療法士も各場面で柔軟な対応が求められており、地域包括ケアの確立をはじめとする、医療・介護・福祉の連携や、健康増進等の新たな分野の拡充、理学療法士数の急増における就業需給バランスの安定、教育環境の整備などを進めていく必要があります。

これらの諸課題の解決を図ろうとするとき、私たちは各分野で明確なビジョン、企画力、実行力が求められています。学術的・技術的な基礎水準の向上に裏付けられた社会的な地位の向上と、自らの生活を確保していくという至上命題を達成しつつ、理学療法士は一丸となって将来の展望を切り開いていかなければなりません。

兵庫県士会においても上記の課題に対して、即応できる効率的、機能的な組織づくり、運営体制を構築し、自治体と県士会での活動経験をもとに、会員の皆様と兵庫県士会がさらに高みを目指す活動をしていきますので、よろしくご支援をお願いいたします。

### 立候補の趣旨

兵庫県理学療法士会（以下県士会）は、現在、大きな変革の時期にきていると考えています。県士会は設立以後、会員の資質向上を最大の目的とし、徐々にその分野を広げつつ研修・学術活動を中心に事業を行ってきました。しかし、社会情勢の変化、理学療法士の増加に伴い、政治・職能活動による理学療法士の働く環境の改善、拡大を図ることが強く求められるようになってきています。さらに、会員数増加に伴い、事業規模を順調に拡大してきた県士会も会員数が増加しない時代になってきています。

このような変化を考えると、県士会の中心的な事業目的は、研修体制の整備による会員の資質向上、政治・職能活動による会員の働く環境の改善・拡大と考えています。また、これら事業を行う際、会員が求める内容を積極的に取り入れ、会員数の増加につながることも重要と考えています。

会長に就任させていただき、この2年間、上記の目的を達成するために、さまざまな事業に取り組んでまいりました。これらのさらなる発展・実行を目指し、理事に立候補いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。





氏名 山口 良太

年齢 43

勤務先名 (株)アールイーコンセプト



氏名 桑山 浩明

年齢 47

勤務先名 介護老人保健施設ローランド

### 経歴

2016年 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理学療法講習部長  
 2017年 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事(現在まで)  
 2018年 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員(現在まで)  
 2022年 公益社団法人日本理学療法士協会 常勤役員要件審査委員(現在まで)

### 経歴

兵庫県理学療法士会 阪神南(西宮・芦屋)ブロック運営委員(2004~2010)ブロック長(2010~2015)  
 阪神在宅リハ連絡会 代表世話人(2010~)  
 日本地域理学療法学会 運営幹事(2014~2021)評議員(2021~)  
 日本訪問リハビリテーション協会 理事(2016~2018)

全国訪問リハビリテーション研究会地域研修会2010 in 兵庫 実行委員長  
 第6回日本訪問リハビリテーション協会学術集会2015 in 大阪 副実行委員長  
 平成29年度日本地域理学療法学会フォーラム in 兵庫 フォーラム長

### 立候補の趣旨

私はこれまで3期6年間理事を務めさせていただきました。3期目は事務局担当としてデジタル業務支援部の新設や各部の広報担当者を横断的に集約する広報戦略会議等に注力しました。また、常勤役員の報酬や業務についての多くのご意見に応えるべく、常勤役員・事務職員業務等検討ワーキンググループ設置を提案し、グループリーダーとして事務局機能や理事会を次世代にスムーズにバトンタッチするための各種規程を検討してきました。常勤役員の実事実上の撤廃、事務局長の公募制や定年制などを盛り込んだこれらの規程は、本年度の総会議案として提出し審議される予定です。

上記の通り、私の3期目のテーマは次世代への継承戦略の構築でした。有資格者の急増とコロナ禍によって激変する会員ニーズは組織率の低下として露呈され、前例を踏襲するこれまでのスタイルで組織を維持することはもはや不可能です。

協会や県士会がまずすべきことは前例踏襲ではなく、誰のために、何をやる会なのか(ミッション)、どういう県士会を目指すのか(ビジョン)、そしてそれらを実行可能とする行動指針(バリュー)をしっかりと公表し、会員に共有、共感してもらうべきです。

残念ながら現在の兵庫県士会にはミッションもビジョンも存在しません。このままでは次世代に会が存続しているかすら危ぶまれる状態です。

よって私は以下の事業を4期目の注力ポイントとして取り組みたいと考えています。

1. 兵庫県士会ミッション・ビジョン策定プロジェクトチームの設立
2. 兵庫県士会の魅力を最大限に伝える広報戦略会議への参画
3. ミッション・ビジョンに見合った事業予算検討委員会への参画
4. 次世代の県士会を支える人材育成(臨床、地域包括ケア、県士会事業)事業への参画

次世代を創る事業へのご協力をよろしくお願いいたします。

### 立候補の趣旨

私は、兵庫県理学療法士会に新人から所属し、ブロック運営委員やブロック長、3士会合同研修会委員など努め、総会などで在宅理学療法の実践・資質向上、対象者である市民や県民へのPR、災害時の理学療法士のあり方、子育て世代への研修会の充実を訴えてまいりました。

ここ数年は、転職などで他士会への異動や育児・介護の当事者になるなどで士会活動を遠ざかっておりましたが、地道な個人的な集まりを続けながら、関連団体の役員などを務め、改めて身近な部分での理学療法士としてのあり方を問う部分があることを感じ、この度役員選挙に立候補することにしました。

私は、生涯学習制度の改変や政治活動の連動も重要な役割であるとも感じておりますが、かたや様々立場にいる会員の皆様にとって、身近な問題点の解決や理学療法士としてのやりがいや芽生えるような取り組みを士会、支部活動で行っていければと考えております。



氏名 中川 ふみよ

年齢 54

勤務先名 坂上田病院



氏名 木澤 清行

年齢 46

勤務先名 株式会社Steps

### 経歴

平成13年～15年 阪神南(芦屋・西宮)ブロック長  
平成20年～平成30年度 システム管理部部長  
平成23年度～平成24年度 兵庫県理学療法士会 局長  
平成25年度～現在 兵庫県理学療法士会 理事

### 経歴

1999～2004年 兵庫県理学療法士会 神戸(東)ブロック運営委員  
2005～2013年 兵庫県理学療法士会 神戸(東)ブロック長  
2014～2015年 兵庫県理学療法士会 卒後教育部長  
2016～2018年 兵庫県理学療法士会 総務部長  
2019～2020年 兵庫県理学療法士会 理事  
2021年～現在 兵庫県理学療法士会 副会長・理事

### 立候補の趣旨

日常生活を一変させたコロナ禍もやっと出口が見え始めました。この3年間は感染対策が最優先されてきましたが、やっと、他のことにも目を向ける余裕が生まれてきています。このコロナ禍において県士会は感染対策など、色々な情報の収集・発信を行い、研修会も継続してきました。しかし、一般的に言われているのと同じように、対面で会う事がなくなり、関係が希薄になっているように感じます。

私は今まで事務局を担当させていただいておりました。会員の方に安心して活動して頂くために、活動を充実させていくために事務機能を安定させることを大事と考えて職務に当たっています。また、一昨年度から始まった兵庫県士会の大目標の一つである女性活躍の促進を念頭に置いた男女共同参画を推し進めたいと考えております。現状を調査し、アンケートや研修会を実施していくと、比較的男女に差がないと思われた理学療法士の世界でも男女に差があることが明らかになってきました。コロナ禍で希薄になった関係を改善し、さらに県士会が活性化するように女性に限らず男女共に参加・参画を進めたいと思っています。

これからも県士会の発展のために、微力ではありますがお手伝いさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 立候補の趣旨

2019年より理事に選出していただき、2期四年の間、兵庫県理学療法士会に携わる運営委員の負担軽減と県士会運営方法の見直しに取り組んで来ました。2021年からの二年間では、特に①士会事業・予算検討委員会での予算配分・事業計画の見直し、②士会広報戦略会議にて、会員にわかりやすい広報として年間研修会カレンダーを作成、③デジタル業務支援部の新設による事務業務負担軽減と研修会アーカイブシステムの構築、などを実施して来ました。このような様々な事業の中で、多くの皆様と今後の兵庫県理学療法士会のあるべき姿を議論し、新たな取り組みへもチャレンジすることができました。しかしながら兵庫県理学療法士会の会員数は、微増に留まっており、会員の皆様より必要とされる士会運営はまだ不足していると反省しております。

この度の立候補では、会員サービスの向上を目標とし、様々な士会に求められる課題に対して、プロジェクトチームを発足し問題解決に邁進したいと考えております。また、支部の役割として対面活動を活性化し、支部内の理学療法士の繋がりを深める活動を推進したいと考えています。

コロナ禍で進めることができたデジタル技術に頼った士会運営とコロナ以前の顔の見える士会運営を融合するようなカタチでこの2年間理事として役目を果たしたいと考えております。





氏名 伊藤 弘

年齢 53

勤務先名 訪問看護ステーション リ・ホーム



氏名 水田 潤史

年齢 43

勤務先名 株式会社PLAST  
リハビリモンスター芦屋

### 経歴

兵庫県理学療法士会役員歴  
 平成5年度～平成10年度 厚生部部員  
 平成11年度～平成12年度 東神戸ブロック ブロック長  
 平成13年度～平成15年度 神戸(東)ブロック ブロック長  
 平成17年 第18回兵庫県理学療法士学会 学会長  
 平成27年度～現在 職能部 部長  
 令和1年度～令和2年度 職能担当 局長  
 令和3年度～現在 兵庫県理学療法士会 常務理事  
 令和2年度～令和3年度 日本理学療法士協会 代議員

### 経歴

職歴  
 2005年4月 医療法人協和会 協和マリナホスピタル 入職  
 2020年3月 医療法人協和会 協和マリナホスピタル 退職  
 2020年4月 株式会社PLAST 入社  
 2020年5月～ リハビリモンスター芦屋 施設長  
 県士会活動  
 2012年～ 兵庫県理学療法士会 阪神南(西宮・芦屋)ブロック運営委員  
 2015年～ 兵庫県理学療法士会 阪神南(西宮・芦屋)支部長  
 2018年～ 第30回兵庫県理学療法学会 準備委員長  
 2020年～ 兵庫県理学療法士会 代議員  
 2022年 第61回近畿理学療法学会 事務局長  
 常勤役員・事務職員業務等検討WG委員  
 学会運営審議会委員

### 立候補の趣旨

私たち理学療法士をとりまく現状は大きく変化しています。職能団体としての目的もこの変化に対応していかなければいけません。すべての会員が安定した法律と制度の下、理学療法士という職業を安心して、生涯に渡って就くことが出来る職業とするためには、給与水準の問題、労働環境の改善や働き方の問題等に職能団体として一致結束して働きかけを行うことが必要です。理学療法士の、職域を守り、さらに活躍できる分野を広げ適正に評価されるよう、またこれからも永く国民の皆様から期待される職業であり続けられるよう、微力ながら尽力させていただきます。よろしくお願いいたします。

### 立候補の趣旨

私は、3年間ブロック運営委員(現支部運営委員)を経験したのち、4期8年、支部長を務めさせて頂いてきました。約11年間県士会活動に関わることができたのは、諸先輩方や職場、同僚、友人等多くの方々からご支援を頂いた賜物だと心から感謝しております。私は15年間の病院勤務の後、現在は株式会社PLASTに入社しデイサービス事業所で勤務をしています。そんな中、病院勤務で見えていた理学療法士と地域で見えた理学療法士の意識や役割、求められるものや教育体制の違いに多くの衝撃を受けました。活躍の場や立場が変われば、問題の相違が生じるのは必然ですが、10年、20年後に理学療法士がどのように社会に対し成立しているのか、そのために今何をすべきなのかを今一度会員と一緒に考え、またそれを共有し続けながら組織をより強固にしていく必要があると思います。私は、これからまだまだ活躍する場が増えていく理学療法士の未来が、よりワクワクするものになるよう、諸先輩方が築き上げられてきたものをより輝く組織へと会員とともに進めたいと思い、立候補いたしました。よろしくお願いいたします。



氏名 岩田 健太郎

年齢 45

勤務先名 神戸市立医療センター中央市民病院



氏名 沖山 努

年齢 63

勤務先名 神戸リハビリテーション病院

### 経歴

2001年7月 金沢大学医学部保健学科 卒業  
 2002年4月 金沢社会保険病院 介護老人保健施設／リハビリテーション科  
 2005年1月 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部  
 2016年4月 兵庫県士会 卒後教育部 部長  
 2017年4月 日本理学療法士協会 管理運営部門運営幹事  
 2018年4月 日本集中治療医学会 P T O T S T 委員会委員  
 2021年6月 兵庫県理学療法士会 理事  
 2022年3月 神戸大学大学院博士後期課程 卒業

### 経歴

1995年～現在 士会理事  
 2003年～2013年 士会事務局長  
 2004年～現在 士会副会長  
 1997年～現在 協会代議員

### 立候補の趣旨

90%が当たり前だった協会の組織率がここ数年で急減し、60%を切ろうとしています。その結果、組織基盤が脆弱となり、これまでの事業でさえ継続困難となるようになっています。この閉塞感を打破するため、兵庫県理学療法士会の士会活動を見える化し、士会員の皆様に所属するメリットを感じていただけるよう取り組みます。そのために、以下の3つを実現するために役員選挙に立候補いたします。

- ① 会費の負担軽減
- ② 生涯学習センター（仮）設立による卒後研修プログラムの一元管理
- ③ 権限移譲による各部活動の活性化～会員の声により反映されるために

高齢化に伴い理学療法対象者は、多疾患併存状態がより増え、複雑化しています。今後、世の中の変化のスピードに如何に順応しながら、生涯学習を体系的に続けて職域を維持できるかが重要です。若手理学療法士が多い今こそ、人材育成に力を入れることで、顔の見える関係や地域包括ケアシステム構築に向けた理解が深まると考えます。理学療法の発展を支えてくださった諸先輩の経験に加えて、多くの若手の意見が士会活動に反映されるよう活動をさせて頂きたく存じます。最後になりましたが、皆様のご理解とご協力をお願いできれば幸いです。

### 立候補の趣旨

前回の理事選挙では、多くのご支援をいただき誠にありがとうございました。この度、再度兵庫県理学療法士会の理事に立候補いたしました。私が理事として行いたいことは、臨床で働くすべての理学療法士が誇りをもって業務に臨める体制を整えることです。

2040年に向けて、毎年3万人の介護不足が生じると指摘されています。これに対して、一部では供給過多になると予想される理学療法士に、不足する介護人員の肩代わりをさせようとする案も囁かれています。理学療法は医師からの指示を受け、対象者の機能回復を図る治療法であり、さらに残存機能を引き出すことや介護者に介助方法を指導することで、住み慣れた地域で暮らしていくという地域包括ケアシステムの一翼を担う重要な職種であるはずですが、しかし、我々の本当の能力を一般の方はもちろん、同業の方々にも分かってもらえていないのではないかと、感じることもあります。この原因として、自ら周りに発信して理解してもらおうとしなかった結果、職域の拡大につながらず、供給過多などという間違った判断がなされたためではないかと思っています。

私はこれまで、県の医師会や看護協会をはじめとした医療関係団体、介護福祉士会やケアマネ協会といった福祉関係団体など全16団体で構成される「兵庫県プライマリケア協議会」に2012年から士会を代表して参加し、理学療法士の立場を説明してきました。他団体との話し合いにおいて人との繋がりがあがること、言い換えると人脈があることは非常に重要になりますが、そのような人脈は一朝一夕にできるものではありません。これまで培ってきた関係性を活用し、本来あるべき理学療法士の役割を他団体に発信するとともに、理解していただくよう努めたいと思っています。

是非皆さまのお力をお借りし、引き続き活動させていただきますようお願い申し上げます。最後までお読みいただき、ありがとうございました。





氏名 藤 信太郎

年齢 40

勤務先名 神戸総合医療専門学校



氏名 戎 智史

年齢 41

勤務先名 名谷病院

### 経歴

2009年～現在 医療法人社団慈恵会 神戸総合医療専門学校 専任教員  
 2010年～現在 兵庫県理学療法士会 理学療法講習部 部員  
 2021年～現在 兵庫県理学療法士会 理学療法講習部 部長  
 2019年 PT・OT・ST養成施設教員等講習会 修了  
 臨床実習指導者講習会(中央講習会)修了  
 2019年～現在 臨床実習指導者講習会(都道府県講習会) 講師&ファシリテーター

### 立候補の趣旨

私は長年教育の立場を通じて臨床現場の先生方と関わらせていただきました。その中で「県士会の活動がよく分からない」「私たちには関係ない」といったご意見をお聞きすることが多くありました。まずは士会員の皆様に県士会の活動をご理解いただくための綿密かつ丁寧な広報活動に併せ、忌憚のないご意見・要望を広く反映できる機会や体制の再構築が必要と考えています。皆様からの革新的かつ幅広い見地は県士会の躍進には必要不可欠であり、性別や立場、経験の違い等に関係なく士会活動へ参画できる開かれた県士会を目指していきたいと思っております。

また、県士会として士会員がそれぞれの立場に必要な知識・技術を得るための講習会が数多く開催されている現在の環境は、理事や部員・支部員の諸先生方によるこれまでの功績の賜物であります。私も理学療法講習部部長として部員の先生方と協力し、現場視点で士・協会員へ向けて多くの講習会の企画・運営に携わってきました。受講者はWeb会議システムの活用により飛躍的に学びの場への参加が容易になった反面、数多くの選択肢から選択できる、言い換えると魅力のないものには受講者は集まらないといった厳しい状況もあります。このような状況を打開していくために、現在の情報社会に沿ったシームレスな連携を図ることで、他都道府県士会にはない学術企画を提供していく必要があると考えています。そのために各支部の役割や業務を整理・統合し、横断的な行き来が可能な体制をソフト面から策定していくことで、結果、皆様にとって魅力の絶えない県士会となるように微力ながら努めさせていただきたいと思ひ、理事選に立候補致します。まだまだ未熟者ではございますが、ご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

### 経歴

【職歴】  
 2003年 医療法人社団名谷 名谷病院入職  
 【士会活動】  
 2020年～神戸(西)支部 支部長  
 神戸市リハ職種地域支援協議会 幹事  
 兵庫県理学療法士会 代議員  
 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会 企画運営委員  
 2021年～感染予防対策委員会 委員  
 【社会活動】  
 2017年～NPO法人エナガの会 理事  
 2022年～神戸地域一体化リハビリテーションコンソーシアム  
 (略称:キュア神戸) 委員

### 立候補の趣旨

この度、理事選挙に立候補させていただきました戎智史と申します。2020年から神戸(西)支部の支部長を務めて参りましたが、新型コロナウイルスが蔓延し県士会としての活動にも大幅な制限がかかり、支部長1年目にして苦戦した記憶が真新しく思い出されます。こんな私ですが、支部運営委員になる前は、県士会活動に全くといって興味がない理学療法士でした。県学会や近畿学会の運営に携わるなかで、士会活動に「面白み」を感じ、当時の支部長にお声掛けいただき支部運営委員を喜んで引き受けさせていただきました。そしてこれまで、県士会活動を通じて様々な役割を兼任させていただくことで多角的な視点を持つことができるようになりました。県下の理学療法士および養成校の学生に、県士会活動に興味をもってもらうこと、私が感じた「面白み」を伝えられるように1つの考えに囚われず多角的に物事を判断し、会員が望むような兵庫県理学療法士会を皆さんと作り上げていきたいと思ひ、若輩者ではございますがよろしく宜しくお願い申し上げます。



氏名 正木 健一

年齢 55

勤務先名 介護ショップ蓮



氏名 有吉 智一

年齢 50

勤務先名 石川病院

### 経歴

職歴  
 1993年4月 倉敷中央病院  
 1996年4月 兵庫県立総合リハビリテーションセンター  
 2006年4月 福祉用具供給企業  
 2020年10月～現在 株式会社ヌーベルバーグ 介護ショップ蓮  
 役員歴（兵庫県理学療法士会）  
 平成24年度～令和元年6月 兵庫県理学療法士会 事務局財務部長  
 令和元年6月～令和3年6月 兵庫県理学療法士会 局長（財務担当）  
 令和3年6月～現在 兵庫県理学療法士会 理事（事務局担当）

### 立候補の趣旨

私たち理学療法士は保健医療福祉の分野において、今困っている、そして将来困るであろう全ての人の身体・活動・参加のサポートを行う専門家です。それは行政・医療・介護・教育・スポーツ分野などにおいて、持ちうる職能を多様に発揮しその活動の場はさらなる広がりを見せています。

現在私は地域における生活支援のフィールドで、利用者の日常生活活動の獲得及び向上、家族や介護職の介護負担の軽減に当たっています。そこでは送り手である病院や受け手となる通所訪問サービス等を担う理学療法士との連携が必須であり、また理学療法士の存在が利用者の今後の生活にとって大きな意味を成すことを肌で感じています。その効果をより高めるため、その知識と技術に基づく信頼を向上する研修機能の充実、職能内外の他職との連携の強化を図る必要があります。兵庫県理学療法士会が会員の意見を細やかに吸い上げ、あらゆる情報をもとに、何が必要でどう形作るのか検討し、実行する仕組みを作ることで、理学療法士会の会員が活躍できる環境を整えるのが理事の役割と考えます。

私は平成13年から保健福祉部員、平成24年から財務部長、財務担当局長を経て、令和3年より理事として土会運営に携わってきました。この経験を活かし、あらゆる分野で会員のみなさんがより一層活躍できるよう、私自身微力ではありますが取り組んでいきたいと考えて立候補いたしました。何卒皆様のご支援をよろしくお願い致します。

### 経歴

2012.4月～2014.3月 中播磨ブロック運営委員  
 2014.4月～2018.3月 中播磨ブロック長  
 2018.4月～2019.3月 中播磨支部長  
 2019.10月～2021.6月 支部局局長  
 2020.1月～2023.3.31 管理者ネットワーク中播磨支部世話人  
 2021.7月～ 兵庫県理学療法士会 理事

### 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会の理事に立候補致しました有吉智一と申します。

これまで、兵庫県理学療法士会で支部長として中播磨支部を、また理事として、播磨4支部を支えてまいりました。コロナ禍のこの2年間は、これまで当たり前のようにできていた支部活動が制限され、対面からオンラインへと会議や研修会も様変わりしました。また、生涯学習も刷新され、前期研修と後期研修からなる登録理学療法士制度が始まり、土会主催研修会や登録理学療法士の更新など支部が担う役割も大きくなりました。その他にも高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施や管理者ネットワークなど取り組むべき課題はありますが、原点回帰の支部の会員一人一人の繋がりを大切に、理学療法士の生活を守るという目標に向けて、取り組んでいきたいと思っております。よろしくご支援のほどお願いいたします。





氏名 熊谷 陽造

年齢 45

勤務先名 公立神崎総合病院



氏名 樋笠 重和

年齢 49

勤務先名 西宮回生病院大原病院

### 経歴

学歴	2001年3月	神戸大学医学部保健学科卒業
職歴	2001年4月	公立神崎総合病院
	2006年4月	かんざき訪問看護ステーション
	2011年4月	公立神崎総合病院
役員歴	2004年～	兵庫県理学療法士会研修部部員
	2019年～	兵庫県理学療法士会研修部部長
	2023年6月	第34回兵庫県理学療法学会学術大会準備委員長

### 経歴

2012-2013年度	兵庫県理学療法士会阪神南 (尼崎)	支部運営委員
2014-2018年度	兵庫県理学療法士会阪神南 (尼崎)	支部ブロック長
2019年度	兵庫県理学療法士会阪神南 (尼崎)	支部長
2019-2020年度	兵庫県理学療法士会局長	(支部運営審議会担当)
2021年度-現在	兵庫県理学療法士会理事	
2020年度-現在	日本理学療法士協会代議員	
2015年	第27回兵庫県理学療法士学術大会	準備委員長
2020年-現在	尼崎市介護認定審査会委員	

### 立候補の趣旨

これまで2004年より兵庫県理学療法士会研修部部員として活動して参りました。研修部部長就任後はコロナ禍において役員の皆様のご協力の下、いち早くオンライン研修体制を構築することができました。また、2022年には感染対策を講じた上での実技講習会開催や年間研修スケジュール作成による研修計画の可視化、アーカイブサイト投稿への協力を進め、研修部だけでなく各部の横断的な結集により課題解決に取り組んで参りました。新生涯学習制度施行されましたが、さらに県士会員へ「より分かりやすく、よりすばやく」を第一に多様なライフスタイル・キャリアの中でも学びの機会を提供することが重要課題と考えます。初めての立候補にあたり以下3点を公約として掲げます。

- ① アーカイブサイトの促進
- ② 対面活動(実技講習会)の促進
- ③ 県士会内の研修体制の可視化、将来的な一体管理

より多くの会員の皆様のご意見が県士会活動に反映され、理学療法士の資質向上に繋がるよう尽力して参りたいと思っております。どうか皆様のご支援のほどよろしくお願いいたします。

### 立候補の趣旨

私は支部運営委員として士会活動に携わり、ブロック長、支部長として6年、現在は支部運営審議会担当理事として支部の活動支援を中心に士会運営に携わっております。2025年には医療費や介護費の増大し、現役世代の負担が増大すると言われ、地域では地域包括ケアシステムの構築を念頭に議論、事業が進められているところです。我々理学療法士が医療・保健・福祉の増進に寄与するためには、会員同士のつながりが大切であると考えます。これまでの士会活動の経験を活かし、現在までも活動させていただいた会員とともに、会員各位、地域、兵庫県理学療法士会が双方向のつながりを持って、前進できるように理事として士会運営に携わらせて頂きたいと存じます。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。





氏名 上野 勝弘

年齢 49

勤務先名 西記念ポートアイランドリハビリテーション病院



氏名 中谷 知生

年齢 48

勤務先名 宝塚リハビリテーション病院

### 経歴

学歴 1999年3月国際医療福祉大学卒  
2020年9月兵庫県立大学大学院経営研究科医療マネジメントコース卒

職歴 1999年5月医療法人康雄会入社 西病院  
2001年5月介護老人保健施設ケアホームすばる  
2002年5月西病院  
2013年4月西記念ポートアイランドリハビリテーション病院  
2018年8月表彰員会委員  
2022年6月代議員

### 経歴

2003年 近森病院・近森リハビリテーション病院  
2008年 宝塚リハビリテーション病院  
2017年 同療法部リハビリテーション研究開発部門長

【社会活動】  
第27回兵庫県理学療法学会大会大会長賞（2016年）  
兵庫県理学療法士会理学療法士講習会「脳卒中の歩行再建」ほか運営（2017年～）  
認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関管理（2022年～）  
日本神経理学療法学会理事（広報担当2021年～）  
日本支援工理学療法学会評議員（2021年～）

### 立候補の趣旨

社会保障制度は2025年の地域包括ケアシステム構築へ向け、また、その先を見据えた2040年問題へと大きく制度設計を転換しています。医療介護分野は急性期・回復期・生活期と分化が進み、理学療法士が関わる時期も分化されています。また、近年では起業される方も増え予防分野を含め理学療法士の活動の場が広がってきております。大きく時代が変化し多様な障害を負った方々に対して、質の高い理学療法の提供が求められています。そして、医療技術の進展から多くの知識・技術が必要とされていますが、急性期・回復期・生活期というシームレスな経過を追うことは困難となっています。若手理学療法士を含め、私たち理学療法士が多様な時期を経験しておくことは、これからの地域包括ケアシステムに関わっていく上で重要ではないでしょうか。2022年度には回復期リハビリテーション病棟入棟対象疾患に心疾患が追加され内部障害を有する方々へのリハビリテーションも注目されています。これからの理学療法士がいかにかにあるべきかを見据え、医療技術の進歩に見合う生涯学習が続けられるよう協会の研修体制を充足すること、また、医療・介護・地域の事業所が連携を図れるような仕組みができないか提案していきたいと考えております。多くの若手世代が主力となり取り組めるよう、諸先輩方の経験を踏襲しつつも時代の変化に柔軟に対応しながら、次世代リーダーへ繋いでいくことが大切ではないかと考え立候補いたします。微力ではありますが兵庫県理学療法士協会の活動に寄与していきますので、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 立候補の趣旨

ポストコロナにおける学習機会のDX化により私達は最新の情報をより早くより安価に入手可能となっています。しかし私はこうした流れが進むほど、より身近で顔の見える関係のなかで事業展開する兵庫県理学療法士会の存在意義が高まると考えます。私は現在の職場でセラピストの教育・学術活動を支援する業務に就き、療法士が院外の学術・研修活動に参加する体制を整えてきました。その中で、県学会への参加、講習会の運営、研究助成事業などの士会事業に挑戦することの重要性を実感してきました。また2021年からは学会法人化後の学会運営に携わってきました。連合傘下の学会の多くが、都道府県士会との連携強化を重要課題としており、日本神経理学療法学会でも兵庫県支部を設置し県下の実情を踏まえた事業展開に取り組み始めています。こうした経験を通して私は、兵庫県理学療法士会という組織が私達にとっていかに重要な存在であるかということに改めて気づき、その運営に携わり貢献したいと思いました。本会事業への参加で得られる楽しさや培われる能力など、士会事業の意義を多くの方に届くよう取り組みたいと思いますのでご支援賜りますようお願い申し上げます。



氏名 井貫 博詞

年齢 53

勤務先名 兵庫県立はりま姫路総合医療センター



氏名 永嶋 道浩

年齢 57

勤務先名 市立伊丹病院

### 経歴

【学歴】  
 1991(平成3)年3月 高知医療学院 理学療法学科 卒業  
 2001(平成13)年3月 佛教大学 社会学部 社会福祉学科 卒業  
 2003(平成15)年3月 神戸大学大学院 博士課程前期課程 修了  
 2007(平成19)年3月 神戸大学大学院 博士課程後期課程 修了

【職歴】  
 1991(平成3)年4月 兵庫県立姫路循環器病センター  
 2010(平成22)年4月 兵庫県立西宮病院  
 2018(平成30)年4月 兵庫県立加古川医療センター  
 2020(令和2)年4月 兵庫県立姫路循環器病センター  
 2022(令和4)年5月 兵庫県立はりま姫路総合医療センター

【県士会活動歴】  
 1992(平成4)年4月 西播ブロック運営委員  
 1997(平成9)年4月 会誌編集委員  
 1999(平成11)年4月～2004(平成16)年3月 研修部長  
 2012(平成24)年5月 第47回日本理学療法学会 広報部長

### 立候補の趣旨

私は新人時代より県士会活動に参画し、十数年ですが色々なことを学び経験させていただきました。

しばらく県士会活動を見守ってまいりましたが、時代の変遷とともに理学療法士の取り巻く環境が大きく変化している昨今、微力ながら今まで培った経験をもとに県士会活動に参画し、理学療法士の未来のために貢献すべく立候補することに至りました。

以上、よろしく願い致します。

### 経歴

1997年4月～2001年3月 : 兵庫県理学療法士会 東阪神ブロック長  
 2009年4月～ : 兵庫県理学療法士会 健康増進部 部員(現在は協力員)  
 2010年4月～2019年3月 : 兵庫県理学療法士会 選挙管理委員長  
 2019年4月～2021年6月 : 兵庫県理学療法士会 局長(学術担当)  
 2021年7月～ : 兵庫県理学療法士会 理事(事務局担当)  
 2014年4月～ : 日本糖尿病理学療法学会 運営幹事(現在は理事)

### 立候補の趣旨

この度、兵庫県士会の理事に立候補させていただきます、永嶋道浩と申します。

兵庫に生まれ、兵庫で育ち、兵庫の理学療法士養成校を卒業しました。現在まで、一度も兵庫県以外での在住・在勤経験の無い、生粋の兵庫県人です。

古くは、東阪神ブロック長から始まり、健康増進部員、選挙管理委員長、学術局長を務めさせていただき、2年前からは理事として兵庫県士会活動に尽力して参りました。

また、協会の分科学会化に伴い設立された「日本糖尿病理学療法学会」においては、設立当初の2014年から運営幹事、法人化以降は理事を務めさせて頂いております。

昭和の最後に理学療法士になってから現在に至るまでの、多岐にわたる経験およびそこで得た人脈は、必ずや兵庫県士会のお役に立てると信じております。

私は、具体的な公約は書きません。恰好のいい公約を述べたところで、実現しなければそれはただの“絵にかいた餅”に過ぎません。私が理事を務めた2年間は、コロナ禍という、誰も予想だにしない状況下でありました。先が見えない中で士会運営の大変さを痛感致しました。

今、世の中は徐々にコロナ禍前の状況に戻つつありますが、いつ何時、また何が起こるかわからないと思います。どんな状況下であっても、常に士会員の皆様のために、何が一番なのかを考えて行動する。それが私の唯一の公約であります。

大切な兵庫県士会・士会員の皆様の明るい未来のために、最大限尽力させていただきますことをお約束致します。

どうかご支援の程、お願い申し上げます。



氏名 成田 孝富

年齢 51

勤務先名 西宮協立リハビリテーション  
病院

## 経歴

### 職歴

1998～1999年 社会医療法人大道会 ボバース記念病院  
1999～2006年 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター  
2006年～現在 社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院

### 協会・士会活動

1999～2001年 社団法人日本理学療法士協会 診療報酬部 部員  
2017～2021年 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理学療法講習部 部員  
2018年6月 第30回兵庫県理学療法学会 大会長  
2019～2021年 公益社団法人日本理学療法士協会  
理学療法標準評価作成委員会 委員  
2021年～現在 公益社団法人日本理学療法士協会  
理学療法標準評価推進運営部 部員  
2021年～現在 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事（学術局担当）

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会理事に立候補いたします成田孝富と申します。  
私は2021年より理事となり、学術局の一員として活動して参りましたが、初めての理事活動で不慣れであったこと、また士会として新たな事業の担当になったこともあり、当初掲げた目標の一部を実行できないままに終えてしまっています。会員の皆さまには、大変申し訳なく思っております。  
理事として1期目を経験し、ようやく仕事の流れが掴めたところです。1期目の経験と反省を活かし、今期も継続して理事として会員の皆さまのお役に立ちたいと思い、立候補いたしました。  
皆さまのご支援賜りますようお願い申し上げます。



# 監事立候補者

定数：2名

立候補者数：2名

備考：この選挙公報は、立候補届出順に、

候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです



氏名 鮫島 一雄

年齢 67

勤務先名 神戸総合医療専門学校



氏名 岩井 信彦

年齢 66

勤務先名 神戸学院大学総合リハビリテーション学部

### 経歴

役員歴		
平成9年～平成15年	兵庫県理学療法士会	選挙管理委員長
平成16年～平成27年	兵庫県理学療法士会	局長・理事
平成22年～令和2年	日本理学療法士協会	代議員
平成27年～現在に至る	兵庫県理学療法士会	監事

### 経歴

1993年	兵庫県PT士会	西播磨ブロック長
1997年	〃	理事
2004年	〃	副会長
2015年	〃	会長
2021年	〃	監事
2005年～2021年	日本PT協会	代議員
2019年～2020年	〃	グランドデザイン検討委員会委員

### 立候補の趣旨

私は、兵庫県理学療法士会監事を4期8年間努めてきました。その間、本会は理事定員数増加・ブロックから支部へ体制変更・代議員制導入・各種検討委員会設置等が行われ、組織の機動力・実行力が強化されたと思います。

一方組織改編により各事業が細分化されることで、各局・部・支部・委員会間の連携や情報共有、一般会員への広報が今迄以上に重要になっています。私は監事として、このような点について今後も見守っていきたくと考えています。

引き続き監事の立場から本会の活動および業務の執行を微力ですが援助していくために、今回立候補させていただきました。

皆様がたのご賛同とご支援をお願い申し上げます。

### 立候補の趣旨

私は本会の理事、副会長、会長として長年士会活動に携わってきました。またここ2年間は監事として、立場を変えて士会活動を見守ってきました。

今までの経験を活かし、微力ではありますが、引き続き本会の業務や財産の状況を観察、助言していきたいと思っております。